

■レクリエーション施設(パークゴルフ場)の今後の取り組みについて

〔パークゴルフ場の整備検討について〕

子どもから高齢者まで誰もが楽しめ、地域間交流人口の拡大や世代間交流の促進によるコミュニティの再構築を進めるとともに、健康で心豊かなライフスタイルづくりに役立つレクリエーション施設の整備に向けた検討を行うもの。

〔県内外の整備状況〕

県内での大規模施設普及が加速しており、パークゴルフ発祥の北海道に次ぐ集積地となりつつある。



競技人口の拡大が期待される反面、供給過多により生じる競争激化が懸念
↓
事業可能性調査が必要

〔事業可能性調査〕

市場調査	採算性調査
<ul style="list-style-type: none"> ・業界全体の動向調査 ・近隣における整備状況、競合状況調査 ・需要圏域、利用者層、利用者数の調査 ・気候に応じた適正な芝の生育調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・概算導入コストの整理 ・運営方法の検討 ・維持管理方法及び維持管理費の検討 ・近隣の実績を踏まえた収支予測



市場調査 + 採算性調査 = 事業可能性の判断
事業可能性を見出した上で、候補地選定および基本計画に着手

〔整備スケジュール案〕

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| 平成30年度 : 事業可能性調査 | 平成33年度 : 用地交渉、用地取得 |
| 平成31年度 : 候補地選定、基本計画 | : 基本設計、実施設計業務 |
| 平成32年度 : 測量、地質調査、不動産鑑定 | : 開発許可手続き |
| : 農振農用地除外調整、農地転用
(候補地が農地の場合) | 平成34年度 ~ : 造成工事および建築工事 |

参考資料（パークゴルフ場の整備計画をとりまく現状について）

本町のパークゴルフ場整備計画においては、平成28年6月議会定例会で基本計画費の補正予算を計上したものの、可決に至らなかった経緯がある。

ここでは、当時出された主な反対意見を取り上げ、現在における状況の変化について整理する。

■主な反対意見

①事業の優先順位

平成28年6月	現在
・応急仮設住宅が解消されておらず、町民の生活基盤が不安定な状態	・新市街地整備の完成に伴い、応急仮設住宅が解消 ・ハード整備は避難路整備などを残すのみ

②既存公共施設の老朽化

平成28年6月	現在
・既存公共施設の老朽化による雨漏りなど、優先して改修すべき施設がある	・平成29年から向こう5か年間の整備改修計画を策定し、計画的な取り組みを実施

③整備財源

平成28年6月	現在
・整備に係る補助金は基本的にはない	・過疎地域に本町が指定されたため、過疎対策事業債の活用が可能 ※地方債の元利償還金70%相当額が普通交付税に算入される

④財政見通しが不安定

平成28年6月	現在
・平成30年度までの財政見通しで17億円の赤字が示されている	・最新版(H29)の中期財政見通しでは、平成32年度の推計値として約20億円の財政調整基金が確保される試算結果を公開 ・平成29年度末基金残高 48億円 ※事業進捗による事業費精査、各種財源対策、過疎債などを考慮して見直しを実施

■主な賛成意見

- ・プレーにより18ホールで約1kmの歩行距離となるため、**健康増進・健康保持が期待される。**
- ・コミュニケーションの場となり、**世代間交流や交流人口の拡大が期待される。**
- ・パークゴルフ場設置の要望書が署名とともに提出されており、**ニーズや気運が高まっている。**